

式 辞

厳しい冬を乗り越え、春の息吹が感じられるこの良き日に、ご来賓、地域、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和五年度（二〇二二年度）第一四九回豊中市立新田小学校の卒業式を挙げていきますことを、心より御礼申しあげます。

本日、ここに一二六名が、六年間の前期義務教育を終え、素晴らしい卒業の日を迎えました。

六年生の皆さん、卒業おめでとございませす。皆さんの新しい門出を心からお祝い申しあげます。

今日は、皆さん一人ひとりが「成りたい自分」になることを願って「自分らしさ四つのエンジョイ」について話をします。

この六年間、みなさんは「このままだと来るだろう未来」について学習し、「創りたい未来」について主体的・対話的な取り組みをしながらSDGsの深い学びを展開し、地球環境を守ることは自分事だと捉えてきました。

皆さんが四歳の頃、二〇一五年九月のことですが、SDGsにかかわる一七の目標が国連サミットで承認されました。

その目標は二〇三〇年の達成予定ですが、難しい状況が続いています。

目標を達成するため、人類は生成AIをフル活用すると思います。

二〇二二年に公開され、私たちに大きな衝撃を与えた生成AIには、光の部分と陰の部分があります。

これは仮説ですが、皆さんが35歳になる二〇四五年、

AIが人類の知能を超えるシンギュラリティが起ころとも言われています。

SDGsを軸にして、生成AIの光と陰を考えてみます。

まずAIの光の部分について、SDGs目標九の「産業と技術革新の基盤をつくろう」を例に話しをします。また陰の部分は、目標一二の「つくる責任、つかう責任」を例にします。

人々の活力があふれ、質の高い生活を目指してAIを利用すれば、「創りたい未来」、「必要なモノやサービスを、必要の人に必要な時に必要なだけ提供」する仕組みができます。またその結果、地球環境が再生されます。

A-1は大変便利な道具ですが、使い方を一歩間違うと、とんでもない悪影響を社会に与えます。

フェイクニュースなどのことを皆さんもよく知っていると思います。その他にも、悪意のある利用、差別・偏見の助長、サイバー犯罪、著作権侵害、情報漏洩などが不安視されています。A-1を利用するとき、これらのことに最大の注意を払ってください。その為には判断力を鍛えてください。

今後、A-1は社会の中心に位置づき、生活スタイルも大きく変化し、価値観も多様化します。

A-1が高度に発達した未来社会で楽しく生きていくために、私たちはどんなことをすればいいのでしょうか？

答えは一つではありませんが、私は「自分らしく生きる」ことが最も大切だと考えています。自分らしさを出すために皆さんが持っている「強み」をさらに磨いてください。

皆さんの強みは、課題解決に必要な情報を集める力があることです。集めた情報を整理しているとき、

「あれの…」という疑問や

「やっぱりそうか!」などの気付き、

「そうだな!こうすれば!」というひらめきがあったと思います。

この気付きや疑問をもとに、さらに調べていくと、未来社会に必要な批判的思考力が培われます。

批判的思考力とは、他者を非難することではなく、自分の考えが論理的、科学的なものになっているかを考える客観的な力です。

気付きや疑問は考えることから生まれます。考えることを楽しんでください。

二つ目の皆さんの強みは、「情報の編集力、発信力」です。

SDGsの学習では、自分たちの意見をプレゼンにまとめ、情報を発信していました。

そしてPDCAサイクルに基づき、自分たちのプレゼンを自分たちで評価し、改善策を見つけていました。改善策を見つ出す習慣は、未来社会に必要な判断力を高めることに繋がります。

情報を編集したり発信したりして、「為すこと」を楽しんでください。

三つ目の強みは「多様性を当然視」していることです。

皆さんの分け隔てのないコミュニケーション活動は、安心して自分の考えを出し合えるので、新しいアイデアを考えることが楽しくなります。その結果、共創力が高まるのです。

多くの人とコラボすることを楽しんでください。

皆さんの四つ目の強みは、「Well-being」の感覚を持っていることです。「Well-being」とは、自分だけでなく、未来社会や地球環境も良くしたいという思いのことです。

この「Well-being」の感覚と、自分の考えを客観的に見つめ、自分の言動を振り返る活動から皆さんは「豊かな個性」を磨いてきました。

「豊かな個性」は成長の証しです。皆さん、自分自身の良さや成長を発見してください。Enjoy-growing up の精神です。

今日私が卒業生の皆さんに新田版学習の四本柱をバージョンアップした「自分らしさを出す四つの Enjoy」の話をしたのは、私には大切にしている思い出があるからです。

私には二つ違いの姉がいました。難しい問題があると、「お姉ちゃん、答えを教えてくださいよ」と言っていました。すると姉は、「どこがわからないのか、詳しく質問をして」と言いました。「なんで答えを教えてくださいなの？」と思っていましたが、姉は私に考えることの大切さを教えたのだと思います。生成AIから最も適した回答を得るためには「質問する力」を

研くことだと、A-1の開発者や研究者が口を揃えて言っています。

夏休み前の母の言葉は、決まって「計画を立てなさい」でした。母が私に言いたかったことは「自分で決めたことだから、うまくいかなかった理由に自分で気が付くでしょう」ということでした。

中・高校生の頃の私は、勉強やクラブ活動に不安を感じ、その都度落ち込んでいました。そのとき、父親から「竹を見做え」とよく言われました。竹は、どんなに寒い時でも青々としています。いくつもの節が竹を強くしています。そのことを父が私に伝えたかったのだと思います。

本校を巣立つ皆さん、これからもご家族のアドバイスを大切に、幸せを感じ、豊かな日々を過ごしてください。

そして、「自分らしさ 四つのenjoy」を羅針盤にして、未来社会に向かって大きく羽ばたいてください。

保護者の皆様方、改めまして、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この三年間、コロナ感染症対策のため、教育活動や学校行事を縮小したり、制限したりしてまいりました。様々な制限をお掛けしていたにもかかわらず、保護者の皆様方から本校教育に対

するご支援、ご理解、ご協力を賜り、職員一同感謝しております。

お子様はこれから多感な時代を迎えます。家族のアドバイスを素直に聞けないときもあります。しかし、保護者の皆様方のアドバイスは、お子様の成長に大きな役割を果たすものです。大人になったとき、あの時の家族のあの言葉が自分を支えてくれたのだと繋がり、ご家族に感謝するときがやってきます。

お子様の成長に友だちの存在も欠かせない大きなものです。私自身の語で恐縮ですが、私は本校職員に支えられてきました。一人ひとりのお子様は、自分の力を最大限に發揮するSDGsの教育を本校の特色とし、そのために私たちは何をなすべきかについてアイデアを出し合いながら本校のESD教育を作り上げてきました。

このような本校職員に私は誇りを感じておりますが、お子様の思いや保護者の皆様方のご期待に十分応えられなかったことも承知しております。

私たちの力不足を重ねてお詫び申し上げますとともに、保

護者の皆様方にはこれからもお子様が自分らしく生きるためのアドバイスを送り続けていただুকことをお願い申し上げます。

以上をもちまして私のお祝いの言葉といたします。

令和六年（二〇二四年）三月十八日

豊中市立新田小学校

校長

安家 紀子